

「市民が主役の魅力あるまつど」をテーマに、さまざまな角度から街の魅力をお伝えする市民活動特集号（平成25年度から通算6回目）として、市民の安全や安心を守る市民活動を紹介します。

特集に関するお問い合わせ＝広報広聴課 ☎366-7320



囲碁・将棋・パークゴルフ・ゴルフ・グラウンドゴルフ・ゲートボール・俳句・踊り・ダンス等に参加したり、高齢者の送り迎えや見守り・買い物など、あなたの力を発揮できることがきっとあります。賛助会員は50代の方もいますよ。
松戸市はつつクラブ連合会会長・白鳥ひさじさん

食の安全・安心について正しく理解し、食品の選び方・保存・調理・後片付け方法を男性と女性が一緒に学んで実行しましょう。
食の安全安心を考える市民の会代表・古宮保子さん

まつどの安全・安心を守る

広報まつど平成28年3月1日号1面にもあったとおり、松戸市の犯罪や火災の件数は減少しています。今回は防犯や防火、または食の安全など、安全や安心を守るための市民活動について紹介します。

この特集を読んで、皆さんも自分や周りの人たちの安全や安心を守るためにできることを始めてみませんか。

私たちM.A.P.S.は、自分の安全はもちろん市民の方々の安全も少しでも守れるように努力していき、これからボランティア団体の未来を担っていけるように頑張ります。
M.A.P.S.リーダー・渡辺剛史さん

徒歩でもできるパトロールをウォーキング感覚で一緒にしてみませんか。
松戸市防犯協会連合会会長・馬橋東地区防犯対策連絡協議会会長・恩田忠治さん

消火器やAEDを使って訓練を積んでいます。いざという時は地域のために頑張ります。
小金北地区少年消防クラブ・三好智佑さん

馬橋東地区防犯対策連絡協議会

パトロールをすることで心強く思う市民がいる



8年続けて定着してきた

馬橋東地区防犯対策連絡協議会では、ひったくりなどの犯罪を抑制するために8年前から青パトでパトロールをしています。開始当初は青パトを見慣れないためか「何で走っているんだ」と聞かれることもありましたが、今ではすっかり定着して学校や警察の要請で出動することも多いそう。「事件に遭遇することはないけれど、パトロールをすることで心強く思う市民がいるから続けている」と語ってくれました。パトロールの時間は担当者によってさまざま。「時間を固定しないことでかえって犯罪の抑止力になっています」

ウォーキング感覚で参加してもらえたら

馬橋東地区防犯対策連絡協議会では、青パトでのパトロールに加えて徒歩でのパトロールも行っています。「徒歩でのパトロールは運転免許証の必要もないので、ウォーキング感覚で男女問わず気軽に参加してほしい」と恩田会長。パトロールをすることで外に出て誰かと話す機会になり、パトロールをきっかけとしてハイキンググループができたりと「皆の役にも立つし、楽しく参加もできます」と笑顔で話してくれました。



上から馬橋地区、幸谷町会、八ヶ崎竜房台自治会の青パト（青色回転灯装着車両）



小学校で見守りをしています

マップス M.A.P.S.

人の役に立つことをしたい



まつどを守る未来の警察官候補たち（左から三瓶大輔さん、高山圭介さん、室井拓海さん、渡辺剛史さん）

安全を守る啓発活動

M.A.P.S.はMatsudo Area Police Supportersの頭文字をとって名づけられた流通経済大学にある「警察支援サークル」です。約4年前に結成され、現在は8人で活動をしています。メンバーのほとんどが法学部の学生で、将来警察官を目指している人も多いそうです。「振り込め詐欺防止のため、ティッシュ配りから高齢者向けイベントでの劇まで、松戸警察署の要請によって多岐に渡った活動をしています。「ティッシュ配りをしているときに温かい言葉をかけて

もらえるとうれしいです」とリーダーの渡辺さん。「劇をしたときはお客さんが800人以上いて、すごく緊張したけれど、皆さんが楽しく聞いてくれて、楽しめたと達成感がありました」とメンバーの室井さんが力強く話してくれました。



メンバーの室井さん



啓発キャンペーンに協力しています

若い人が伝えた方が説得力がある

警察からの要請がないときは、子どもたちの安全を守るため、新松戸駅や松戸駅周辺のゲームセンターや公園などのパトロールをしている皆さん。それらの活動を経て、初めての試みとして流山運転免許センターで小学生と高齢者向けの自転車の安全運転を呼びかける啓発イベントを企画中とのこと。松戸警察署生活安全課の人からの「若い人が伝えた方が説得力がある」という言葉を受けて、これからの活動に向け意欲を見せていました。

食の安全安心を考える市民の会



学んだことを社会に還元したい

食の安全安心を考える市民の会は、市内にある千葉大学園芸学部で公開講座を受講したメンバーが、講座を通して学んだことを社会に還元するために約8年前に立ち上げました。

公開講座を通して、消費者目線で、食の安全・安心を伝えたいと考えたメンバーの皆さん。「当初は各分野の担当ごとにまとめたものが論文形式でA4にびっしり100ページありましたが、すてきなイラストレーターさんとの出会いもあり、内容を精査して1冊の冊子にまとめました。男性メンバーの視点もあり、男女問わず食につ

いての科学的知識を身に付けることができます」と代表者の古宮さんがにこやかに話してくれました。



消費生活展や講習会等で食の安全安心を直接伝えています

冊子を見た人から多くの反響があった

作成した冊子は市の助成を受けて、200部作成しました。「食品の安全な取り扱いについて注意すべきことがイラストで描かれているので、従業員が感覚的にわかってくれた」「高校の授業の教材にしたい」など、多くの反響があったとメンバーの方々も手ごたえを感じているようでした。

「今後は、現在ある冊子の改訂に加えて、子どもや若い人向けの冊子の作成やお料理教室を兼ねた講習会などをしていきたいです」と先を見据えていました。

知っていると便利!! 食品の安全な取り扱い手帳

食品の保存や調理の注意点など食の情報満載!



※冊子の入手方法や内容などのお問い合わせは、食の安全安心を考える市民の会代表・古宮さん ☎090-9963-8980へ

松戸市はっらっクラブ連合会

「全国老人クラブ大会」で全国2位に



おそろいの法被で舞台発表

交通事故防止と くらしの安全・安心活動

健康づくりや地域の社会活動などさまざまな活動をしている老人クラブ。その数は全国に約11万クラブ、670万人もの会員がいます。市内にも約220の老人クラブがあり、それらの会員全員が所属するのが「松戸市はっらっクラブ連合会」です。同連合会は全国でも珍しく（千葉県では唯一）事務所を独自で構え、運営も会員のみで行っています。



白鳥ひさじ会長

全国第2位の取り組み

舞台での発表と、日頃の活動を披露する「全国老人クラブ大会」で、同連合会が全国2位に輝きました。発表演目は交通安全の注意喚起の歌と踊り、SOS黄色いハンカチの携帯運動、オレオレ詐欺被害防止電話かけの3つです。

特に力を入れている交通安全では、全員おそろいの法被を身にまとい歌と踊りと、夜間の交通事故を防止する目的で、光る糸をつけた帽子やかばん・洋服でファッションショーを披露しました。

また、氏名・住所・かかりつけの病院などを記入した黄色いハンカチを携帯することで、突然具合が悪くなった時に一命をとりとめた実体験を舞台上で演じました。このSOSハンカチの携帯運動は大きな反響があり、日本全国にとどま



ファッションショーの様子

らず、中国・韓国・シンガポールにまで広がっています。白鳥会長は「SOSの黄色いハンカチは会員全員が携帯しています。それを見た近所の人から、ぜひ自分も欲しいと反響をいただいています」と手ごたえを感じています。



SOS黄色いハンカチ

地域のつながり

同連合会ではお年寄りが自宅に引きこもらず、外に出るきっかけを作ってもらおうとさまざまな呼びかけをしています。例えば、会社を退職して間もない人に、活動場所への通所が困難な会員のお手伝いをする賛助会員として参加を依頼します。また、事務所の運営を会員のみで行っているため、パソコン作業や広報活動などそれぞれ得意な分野で力を貸してもらうように参加を呼びかけています。白鳥会長は「どんな形であれ、家に引きこもらず外に出ることが大事。決してひとりではありません。たくさんの仲間がいるので、ぜひ活動に参加してみてください」と更なる活動の広がりに期待します。

小金北地区少年消防クラブ

日頃の活動が評価され「消防庁長官賞」を受賞



ホースを使った消火訓練

地域の防火・防災に貢献

少年消防クラブとは学校や家庭などにおいて、防火・防災意識を高めることを目的とする自主的な防災組織です。全国で約4,500クラブ、41万人のクラブ員がいます。小金北地区少年消防クラブは昭和57年に設立され、現在は15人が所属しています。定期活動では、女性防火クラブとともに毎月1～2回の規律訓練・応急手当て訓練・ロープ取り扱い訓練等さまざまな訓練を積んでいます。

そうした日頃の活動が評価され、数ある全国の少年消防クラブの中から平成26年度優良少年消防クラブ・指導者表彰で、「優良な少年消防クラブ（消防庁長官賞）」を受賞しました。

小金北地区少年消防クラブ・三好さんに聞きました

——消防クラブに入会したきっかけを教えてください

母の勧めで入会しました。地域のために何か自分でできることがあればと思って。

——消防クラブでどのような活動をしていますか

応急手当てや消火器訓練など実際にいろいろな機器に触れて訓練を積んでいます。また、消防出初式やこども祭りなどにも参加して、防火・防災の啓発に努めています。



消防庁長官賞の表彰状

——消防クラブでの経験をどのように生かしていきたいですか

以前まではなかなか物事を決められないことがありましたが、いざという時には迅速な対応が求められるので、今では物事をきっぱりと決断できるようになりました。今後も消防クラブに関わって、後輩の役に立てればと思っています。



大金平消防署員・女性防火クラブと共に応急手当ての訓練をしています



昨年の夏に埼玉県三郷市の消防クラブと合同訓練を行いました

3月19日(土)
11時～15時

楽しく学んで災害に備える! 防災フェス2016 参加費無料

11時～13時 シェフが作る料理の試食&おみやげ付き

非常食などがごちそうに变身! 要申込

ごちそうとぼうさい

シェフが非常食などと松戸の野菜を“ごちそう”にアレンジ! 美味しい料理をいただきながら、「災害時に賞味期限が切れていた」ということがないよう、美味しく食べながら災害に備えるローリングストック法や、普段の暮らしの中で防災に取り組むことの大切さを学びます。

シェフ/新松戸「田島亭」・田島加寿央氏、

協賛/大塚ウエルネス
ベンディング(株)
定員先着80人
開3月15日(火) [必着]

までに、参加人数(お子さん同伴時はお子さんの人数と年齢)・参加者全員の氏名・申込者の電話番号とメールアドレス・HUGゲームへの参加有無を記入して、市ホームページの応募フォームまたは電話・FAX・メール(件名「ごちそうとぼうさい参加」)で、広報広聴課シティプロモーション担当室 ☎366-7320、FAX 362-6162、✉mcpromo@city.matsudo.chiba.jpへ

※詳細はホームページをご覧ください。



(12時～) 豚汁&おにぎりの炊き出し有り

13時～15時 災害時の避難所運営を模擬体験

HUGゲームで学ぼう! 当日参加もOK!

災害時の避難所に起こるさまざまな出来事についてどう対処していくかを模擬体験する「HUGゲーム」。災害時は地域の助け合いが大切です。既存の町会や自治会の枠組みを越えて、みんなの知恵と力を結集させながら、ゲーム感覚で避難所の運営について学びます。

協力/市危機管理課



広告